

サクラの開花調査方法について(2018年)



■実施内容

○ソメイヨシノの開花日について京都府内全域で調査を行います。

■調査期間

○平成30年3月11日～4月15日
 (統一調査日3月11日(日)・18日(日)・25日(日)・4月1日(日)・
 8日(日)・15日(日))

■観察の手順と調査シート記録方法

①調査樹木：サクラの種類は非常に多いので、基準のサクラをソメイヨシノとしますが、どのサクラでも観測してみてください。

※サクラの種類が多く、ソメイヨシノと判断できない場合、また開花の程度が判断できない場合は写真撮影し添付してください。写真を添付する場合、可能であれば調査票の感想欄(※印欄)に添付して下さるようお願いいたします。

※できるだけ、1本独立していて樹木全体が観察できるサクラを選んでください。

※昨年観察した方は、できるだけ昨年観察した木と同じ木を観察してください。

②サクラの開花一斉調査シートに下記の項目について記入してください。

○観測者氏名、天気、観察の日時と住所を記入してください。

○観察場所の特徴をご記入ください(番地まで記入、もしくは公園名や学校名を書いてください)。経度・緯度は分かる場合のみご記入ください。

○樹木全体の開花している割合をご記入ください。

※割合区分の目安は調査シートにもありますが、次のとおりです。


まだ咲いていない 開花(5～6輪開花)

満開(80%) 散り始め

※開花日とは、5～6輪開花した日を示します。

京都市域 サクラの開花日一斉調査シート(2018年)

一斉調査(2018年3月11日・3月18日・3月25日・4月1日・4月8日・4月15日)

観測者氏名	未来 選手	天気	晴れ、曇り、雨、その他		
観測者の連絡先 ・電話、ファクス番号、メールアドレスなど	京都市中京区西ノ京内畑町41番3 Tel:075-803-1128				
観測日時	H30年 3月 11日	9時 00分			
観測地点 ・番地まで記入または公園名、学校名など ・緯度経度が分かれば記入	住所	JR 二条駅前			
観測場所の特徴 その他:詳細に記入	家の近く	公園	学校	山	川辺 道路沿い その他
サクラの開花	まだ咲いていない	開花	満開	散り始め	
		(5～6輪開花)	(8割開花)		
サクラの種類	花柄から蕾までの長さ(写真参照)		. cm		
・その他種類が分かれば記入	ソメイヨシノ	ヒガンザクラ	ヤマザクラ		
・その他種類が分かれば記入	その他				
※調査した感想や調査についての意見などお気づきの点をご記入下さい。 (写真も可能でしたらここに添付して下さい。)	写真をここに貼る				

注1) 3月11日～4月15日頃までの間のいつでも調査できる日で観察して下さい。
 注2) サクラの種類は多く、秋から晩春にかけても開花します。種類が不明の場合は写真撮影したサクラを添付下さい。写真は可能な場合、調査票内の感想欄に貼り付けて下さい。
 注3) 開花していない場合は、花柄から蕾までの長さを計測して下さい。長さから開花日を予測することができます。長さが1.6cmを超えると約1週間後に開花するようです。

この調査シートをコピーしてお使い下さい。
 調査後、京都府地球温暖化防止活動推進センター (Fax:075-803-1130
 E-mail: sanka@kcfca.or.jp) へ送付して下さい(郵送も可)。

■サクラ（ソメイヨシノ）の開花について

多くの植物は、その結実の過程として花を開きます。これが開花です。

サクラ（ソメイヨシノ）の開花日とは、対象とする樹木で5～6輪以上の花が開いた状態となった最初の日とします。

ちなみに、満開日とは、対象とする樹木で、約80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。



写真提供：京都地方気象台

サクラ豆知識

サクラは日本を主として、アジア東部に分布し、その種類も多いです。ソメイヨシノはエドヒガンとオオシマザクラとの交配種で江戸末期から始まる品種です。

サクラの開花については、まだ開花していない場合、花柄から蕾までの長さを計ることで、開花日が予想できます。長さが1.6cmを超えると約1週間後に開花するようです。



サクラ開花日調査をするにあたっての目的や概要について

■なぜ調査するの？

サクラ（ソメイヨシノ）の開花日やカエデ（イロハカエデ）の紅葉日を調査することにより、その結果から季節の遅れ進みや気候の違いなどを知ることができます。

日本では、地球温暖化の影響として梅やサクラの開花が早くなったり、カエデの紅葉が遅れたりしています。京都でも、サクラの開花日が過去30年間で1週間早くなったり、カエデの紅葉が遅れたりしています。そこで、この調査では、京都府内の生き物を観察することで、私たちのまわりに何が起きているのか実際に体験するとともに、記録を残すことで地域の変化を見守ります。

■誰が調査するの？

京都府内にお住まいの方は誰でも参加することができます。この調査は年1回とし、見分けが付きやすいソメイヨシノを観察します。観光でお花見に出かけたときの「ついで観察」でも大丈夫ですし、自宅周辺への身近なサクラを調べるのでも構いません。今回はサクラの調査を行っていただきます。

■調査の基礎知識

各地の調査結果を互いに比較すること、また、同じ地域の調査結果を長期間にわたって比較することを目的としています。そのためには、できるだけ自然の状態に置かれている植物を対象とし、一定の方法で、同一の固体（植物）を調査しましょう。

開花などの現象は、局地的な気象の影響を受けやすいので、できるだけ建物などの影になる場所を避け、なるべく周囲の開けた場所を選びましょう。

■調査結果の報告について

- 調査された方から調査シートを順次ファックス・郵便・または E-mail にて京都府地球温暖化防止活動推進センターまで送付ください。郵送の場合は、申し訳ありませんが、郵送料は調査された方負担でお願いします。
- E-mail で報告くださる方は、京都府温暖化防止センターのホームページから調査シートをダウンロードし、下記の E-mail アドレスに返送して下さい。
- 調査結果は、順次送付下さい。なお、平成 30 年 4 月 27 日（金）頃まで受付けます。

■調査結果の発表について

- みなさんから寄せられた調査データをもとに、龍谷大学経済学部増田啓子教授に分析していただき、京都府内のサクラ開花日分布図(等期日線)等としてフィードバックしていただきます。
- 京都府地球温暖化防止活動推進センター発行の季刊ニュースレター「うおーみんぐ」やホームページ上で結果発表します。

■サクラやカエデ調査など生物季節観測について

※さらに詳しく調べたい場合は、関連サイトのホームページにアクセスして下さい。

★国土交通省 気象庁 生物季節観測の情報

<http://www.data.jma.go.jp/sakura/data/>

★京都地方气象台 生物季節観測（植物）

<http://www.jma-net.go.jp/kyoto/kisetu/seibutsu.htm>

■結果報告送付先

※京都府地球温暖化防止活動推進センター（下記参照）まで送付してください。

桜開花日調査シート送付先・問合せ先

京都府地球温暖化防止活動推進センター（担当：川手）

（特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議）

〒604-8417 京都市中京区西ノ京内畑町 41 番 3

Tel:075-803-1128 FAX:075-803-1130

E-mail: : sanka@kcfca.or.jp

URL:<http://www.kcfca.or.ne.jp>